

安全データシート (SDS)

1. 製品および会社情報

製品名 : JSベランダフローQ
 会社名 : 菊水化学工業株式会社
 住所 : 滋賀県湖南市石部口3-1-1
 担当部門 : 技術部 無機土木技術グループ
 電話番号 : 0748-77-3155
 FAX番号 : 0748-77-4501

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

引火性液体	: 区分に該当しない
急性毒性 経口	: 区分に該当しない
経皮	: 分類できない
吸入	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分1
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分1
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 区分1A
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	: 区分1 (呼吸器系)、区分3 (気道刺激性)
特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	: 区分1 (呼吸器系、腎臓)
誤えん有害性	: 分類できない
水生環境有害性 短期 (急性)	: 分類できない
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 分類できない

物理化学的危険性で記述のない項目は対象外です。

【絵表示】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
 臓器 (呼吸器系) の障害
 長期に渡る、又は反復ばく露による臓器 (呼吸器系、腎臓) の障害
 呼吸器への刺激性の恐れ (気道刺激性)

【注意書き】

- 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- 容器を密閉して涼しい所／換気の良い場所で施錠して保管すること。
- 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
- 保護手袋／保護眼鏡／保護マスクを着用すること。
- 粉塵／フューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
- 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 環境への放出を避けること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名 : 特殊セメント

成分	含有量	化学式	化審法番号	CAS No.	PRTR法	労安法(表示・通知対象物)
特殊セメント	45～55%	$3\text{CaO} \cdot \text{SiO}_2, 2\text{CaO} \cdot \text{SiO}_2$	1-194	65997-15-1	非該当	該当 (545・2)
		$3\text{CaO} \cdot \text{Al}_2\text{O}_3$	9-2408			
		$4\text{CaO} \cdot \text{Al}_2\text{O}_3 \cdot \text{Fe}_2\text{O}_3$				
		$\text{CaSO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$	1-193			
炭酸カルシウム	45～55%	CaCO_3	1-122	471-34-1	非該当	非該当
粉末樹脂	1～3%		登録あり	登録あり	非該当	非該当
その他	1～2%					

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が止まっている場合、および呼吸が弱い場合は人工呼吸を行う。直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付いた場合 : 付着物を拭き取り、水と石鹼でよく洗う。外観に変化が見られたり、痛みがある場合は医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。洗眼の際、まぶたをよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口を洗わせ、直ちに医師の診断を受ける。意識のない被災者には何も与えてはならないし、無理に吐かせてもならない。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者が有害物質に触れないよう手袋やゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 不燃性。包装が燃えた場合は一般的な消火方法でよい。
- 特定の消火方法 : 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際には有毒なガスを吸い込まないように呼吸用保護具等を着用し、消火作業は風上から行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺への関係者以外の立入りを禁止する。作業の際には保護具を着用して、粉塵の吸入や皮膚への接触を防止する。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 除去方法 : 発塵に注意しながら容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い :

- 技術的対策 : 局所排気装置等を設け、通気の良い場所で作業する。
漏れ、あふれ、飛散等がないように注意して取扱う。
保護眼鏡、保護マスク、保護手袋等の保護具を着用し、暴露を防止する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 注意事項 : 漏れ、あふれ、飛散などによる作業場の汚れを防止する。
取扱い場所には、関係者以外の立入を禁止する。

保管 :

- 適切な保管条件 : 水濡れ、吸湿しないように注意をする。
屋内貯蔵を原則とする。
施錠をして保管する。

その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定めるところに従う。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 局所排気装置、洗眼、手洗い、身体洗浄用の設備。

管理濃度 : 3.0 mg/m³ (労働安全衛生法・作業環境評価基準)

許容濃度 : 日本産業衛生学会勧告値 (2012年度) 吸入性粉塵 1 mg/m³
総粉塵 4 mg/m³

保護具 : 保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、保護服、保護マスク、保護前掛け。
保護具は定期的に点検する。
作業中は飲食、喫煙はしない。飲食、喫煙前に石鹼で手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色 :	灰白色粉末
臭い :	特になし
pH :	水に接触すると 12~13
融点・凝固点 :	データなし
沸点、初留点及び沸点範囲 :	データなし
引火点 :	なし
爆発範囲 :	データなし
蒸気圧 :	データなし
蒸気密度 :	データなし
比重 :	データなし
溶解度 :	難溶/水
オクタノール/水分配係数 :	データなし
自然発火温度 :	データなし
分解温度 :	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の条件下では安定。
 危険有害反応可能性 : データなし。
 避けるべき条件 : 湿度、水濡れ。
 混触危険物質 : データなし。
 危険有害な分解生成物 : データなし

11. 有害性情報

急性毒性 経口 : 区分に該当しない
 経皮 : 分類できない
 吸入 : 分類できない
 皮膚腐食性/刺激性 : 区分1
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分1
 呼吸器感作性 : 分類できない
 皮膚感作性 : 分類できない
 生殖細胞変異原性 : 分類できない
 発がん性 : 区分1A
 生殖毒性 : 分類できない
 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 区分1(呼吸器系)、区分3(気道刺激性)
 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 区分1(呼吸器系、腎臓)
 誤えん有害性 : 分類できない
 水生環境有害性 短期(急性) : 分類できない
 水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない

12. 環境影響情報

移動性 : データなし。
 残留性/分解性 : データなし。
 生態毒性
 魚毒性 : データなし。

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として、許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理をする。

14. 輸送上の注意

注意事項 : 水濡れ、破袋に注意し、荷崩れ等の防止を確実に行う。
 国連分類 : 分類に該当しない。
 国連番号 : なし

15. 適用法令

消 防 法 : 該当しない。
 労働安全衛生法 : 表示・通知対象物質 545-2 : ポルトランドセメント
 粉塵災害防止規則
 P R T R 法 : 該当しない。
 船 舶 安 全 法 : 該当しない。

16. その他の情報

- ① 参考資料：「製品安全データシート作成指針」（平成24年7月 日本化学工業協会編）
- ② 本文書の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。また全ての化学品には未知の有害性が考えられる為、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位には安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。

以上